

「JENESYS2018」香港・澳門高校生訪日団（招へいプログラム）の記録  
（対象国：中国）

1. プログラム概要

香港特別行政区政府教育局及び澳門特別行政区政府教育暨青年局が派遣した香港・澳門高校生訪日団計74名が、12月9日から12月17日の8泊9日の日程で来日しました（香港団団長：李伊瑩 九龍真光中学 校長、澳門団団長：郭敬文 澳門培正中学 副校長）。

訪日団は東京のほか、茨城・滋賀・京都・広島を訪問し、各地の高校で日本の高校生と相互理解・交流を深めました。また、ホームステイや和風温泉旅館宿泊体験、地方の歴史・自然・文化等の見学などを通じ、日本人の温かさや日本の魅力を体感しました。香港・澳門高校生は、本事業を通じ、日本人の考え方に触れ、さまざまな角度から日本理解を深めることができ、見聞したことや体験したことを自身のSNS等を通じて発信しました。また、報告会で帰国後のアクション・プラン（活動計画）について、各団の代表者が発表しました。

【訪問地】 東京都（全員）、  
茨城県・滋賀県・京都府（香港団 49名）、広島県（澳門団 25名）

2. 日程

12月9日（日）

成田国際空港より入国

【オリエンテーション】

12月10日（月）

【視察】日本科学未来館

【見学】皇居二重橋

【セミナー】テーマ：赤ちゃんとロボット～人工知能研究が目指す未来～

【歓迎会】

12月11日（火）

【見学】東京タワー（澳門団）

【学校交流】茨城県立土浦湖北高等学校（香港団1号車）

学校法人東洋大学東洋大学附属牛久中学校・高等学校（香港団2号車）

東京都立淵江高等学校（澳門団）

12月12日（水）～12月15日（土） ※香港団、澳門団に分かれプログラムを実施

●香港団：滋賀県、京都府

【学校交流】京都府立山城高等学校（香港団1号車）

京都府立北稜高等学校（香港団2号車）

【体験】ホームステイ（滋賀県日野町）、温泉旅館泊

【見学】甲賀流忍術屋敷、伏見稻荷大社、金閣寺

●澳門団：広島県

【学校交流】学校法人呉武田学園武田中学校・高等学校

【体験】ホームステイ（広島県北広島町）、杓子づくり、温泉旅館泊

【見学】厳島神社、平和記念公園・原爆ドーム、広島城

12月16日（日）

【視察】池袋防災館（香港団）、しながわ防災体験館（澳門団）

【見学】江戸東京博物館

【歓送報告会】団員による感想・アクションプラン発表

12月17日（月）

成田国際空港より出国

### 3. プログラム記録写真

#### <共通>



12月10日【セミナー】「赤ちゃんロボット  
～人工知能研究が目指す未来～」



12月10日【視察】日本科学未来館



12月10日【歓迎会】香港高校生パフォーマンス



12月16日【歓送報告会】団員による感想・アクションプラン発表

#### <香港団>（訪問地：東京都、茨城県、滋賀県、京都府）



12月11日【学校交流】茨城県立土浦湖北高等学校



12月11日【学校交流】学校法人東洋大学 東洋大学附属牛久中学校・高等学校



12月14日【学校交流】京都府立山城高等学校



12月14日【学校交流】京都府立北稜高等学校



12月13日【体験】ホームステイ（滋賀県日野町）



12月13日【見学】甲賀流忍術屋敷



12月15日【見学】伏見稻荷大社



12月16日【視察】池袋防災館

〈澳門団〉（訪問地：東京都、広島県）



12月11日【学校交流】東京都立淵江高等学校



12月14日【学校交流】学校法人呉武田学園  
武田中学校・高等学校



12月13日【体験】ホームステイ  
（広島県北広島町）



12月13日【見学】厳島神社



12月15日【見学】平和記念公園 原爆ドーム



12月16日【視察】しながわ防災体験館

#### 4. 参加者の感想（抜粋）

##### ◆香港団

○日本科学未来館の見学では、香港の科学館や宇宙館とは異なる展示を沢山目にした。香港の科学館の装置は、ほとんどが幾つかの基本原理に基づいたものだ。例えば光学反射と屈折、ニュートンの法則などだ。でも日本科学未来館の施設はよりハイテクノロジーで、現代の科学技術の進歩の速さをより実感できるものだった。中でも一番印象的だったのは ASIMO のショーだ。元々ロボットに関して多少の知識はあったし、ASIMO のことも聞いたことはあった。でも日本で直に ASIMO を見て、歌が聴けるとは思っていなかった。私は日本が科学技術の進歩と同時に周到な環境保護への配慮も望んでいることを知った。

そして、ホームステイでは、日本の普通の人々の生活を体験することができた。Hさんは私たちを山登りに連れて行ってくれたり、竹笛の作り方を教えてくれたりした。一泊二日、大自然に帰り、すべての心配事を忘れてその恵みを享受した。日本人の生活は香港より明らかにリラックスしたものだった。私はまた、日本の伝統建築に対しても知識を深めた。例えば、床の間や畳、庭… 香港は土地が狭く人が多いため、家にこれらを配置するスペースはない。本当に二度とない経験だった。

○これまで日本に行ったことがなかったので、私は日本に対して偏ったイメージを抱いて今回の交流に参加した。優雅で古色に満ちた、複雑な礼儀作法を有する国。そして、この交流の中で、文化や生活、科学技術、歴史といった沢山の日本を知った。その姿は一つだけではなかった。私たちは多くの名所を訪れたが、どこも素晴らしかった。自然は美しく、清らかで長閑で、建物は壮大だった。一カ所見学する度に、私は自分の心が落ち着いていくのを感じた。香港での生活は慌ただしく、人がひしめき合う都会では、忙しくて息もつかない。それが、今回の日本の旅で私は本当に一息つけた。清らかに澄んだ空気を吸い、心がすっかり落ち着いた。そして、見学では、建物の歴史と由来についても理解した。頭の中で曖昧だった日本が神秘のベールを脱いだ。見学の他に、ホームステイでも沢山の収穫があった。私たちは日本人の家庭に入り、一緒に食事の準備をし、交流し働いた。その中で、私は日本人の生活習慣や彼らの考え方を知った。言葉は通じなかったが、交流の妨げにはならなかった。この貴重な経験は私の記憶に永遠に残るだろう。最も深く印象に残っている体験は、一番楽しみにしていたプログラム、学校交流だ。日本の高校生と一緒に授業を受け、互いに理解を深めた。交流はすべて順調というわけではなかったが、英語やジェスチャーで想いを伝えることができた。彼らはフレンドリーで親切で、勉強にも熱心だった。そのすべてが私の心に徐々に変化をもたらした。学びの道における大きな決心をさせたのだ。彼らの一生懸命さ、大雨が降ってきてもパフォーマンスをやり続ける、その諦めない精神を、学びたいと思った。たった一日という短い時間だったが、彼らと確かな友情の基礎を築いた。今後も互いに助け合って未来へ進み、互いの国に対する理解を更に深め合っていけると思う。

○この九日間で、私は日本の科学技術や防災面での発展や、歴史文明、宗教について学んだ。また、日本の風俗文化について体験することもできた。例えば、ホームステイでは日本の一般家庭の日常生活を見ることができたし、沢山の日本の友達を作ることができた。今回の交流団で私の人間関係が広がっただけでなく、視野も広がり見聞も深まった。そして、日本人々からも、人として物事を行う際のあるべき態度について、多くの事を学んだ。今回のプログラムの中で得た事は、普通のツアーに参加して得られる事とは全く違うと思う。絶対に一生忘れられない経験である。

日本人からは、仕事や生活に対する熱意と真面目さを学んだ。いかなる仕事に対しても、周到で綿密に計画を立て、最大の力で最高にやり遂げる。この精神は十分に学ぶに値すると思う。今、そして将来においても、何事を行うにもいい加減ではなく、日本人のように全力で完璧に行うべきだと気付かせてくれた。これは単に他人への戒めではなく、同時に自分に対する戒めだ。

今回のプログラムの中で最も印象深かったのは、日本の環境保護意識だ。日本はこれまでずっと世界に向けてその清潔さと環境保護の一面を示してきた。これはホテルの中でさえ目にすることができた。私が宿泊したホテルの部屋には複数のごみ箱があり、客は自分でごみを分類し、それぞれのごみ箱に入れる必要があった。日本が単に自分たちに対して環境保護を求めているだけでなく、外国からの旅行客にも同様の環境保護意識を持ち、共に地球を守るために力を発揮して欲しいと望んでいるのが分かった。それに引き換え香港は、度々ごみの分別回収が提唱されてはいるものの、真面目に取り組まない人が多く、ごみの分別を間違えてしまう。環境保護意識を養う上で、日本は十分に学ぶに値すると思う。香港が将来、日本のように環境保護意識の育成に力を入れ、環境保護分野で多くの改善がみられることを望む。

○まず、二日目に日本科学未来館を見学した時、日本人のイノベーションへの考えに触れた。未来館では重力で制御する車に試乗した。誰もが今ある車を如何にレベルアップするかを考えているこの時代に、日本人はこうした誰もが考えつくような問題にとらわれないばかりか、より突破口になるような問題について考えを巡らしている。この種の新しく発明された車は、速度が速いわけではないが、操作はとても簡単で、改良を重ねれば必ず市場に出せるし、突発的な交通事故を減らすことができると思う。日本人の考えている問題はイノベーションだけではなく、生活とも密接に関係している。こうした創意工夫は十分に学ぶに値する。

ホームステイでは、日本人のおもてなしを実感した。たった一日の滞在だったが、お爺さんとお婆さんは私たちを本当の孫のように扱ってくれた。そして、私と日本語で、人生の四方山話やこれまでの経歴について話し、気まずい沈黙はすぐに破られた。すべての過程で学んだことは、単に大根はどうやって引き抜き、日本料理はどのように作るかだけではない。彼らが私たちのために準備してくれたすべてを、私は感謝の心で堪能した。彼らが私たちの知らない所で手配してくれたすべてのプログラムに、私は心から感謝した。彼らは本当に一生懸命に私たちに日本の文化を理解させようとしてくれた。このような情熱は十分に学ぶに値すると思う。今後、どんな場面においても、お爺さんお婆さんのように心を込めて最善を尽くしたい。

○学校訪問では、学校サイドの手配の完璧さが見て取れた。例えば、私たちをさまざまな授業に参加させる等、短い時間の中で最大限学校生活を体験し、学生と交流できるよう準備してくれていた。また、日本の学生がとても親切でフレンドリーなことも分かった。彼らは言葉の通じない状況でも、ボディランゲージで一生懸命私たちとの意思疎通を図り、香港のさまざまな事柄について積極的に質問し、二つの地の文化の違いを理解しようとしていた。彼らのこの積極性や、異国から来た私たちに対するフレンドリーさも、新しい物事に対する好奇心も、深く印象に残った。これこそ私たち香港の学生に欠けているところだから。今後、私たちが彼らの素晴らしい態度に学べば、勉強や成長に大いにプラスになると思う。

他にも印象的だった美德は彼らの自制心だ。先生が見ている時だけ規則を守るのではなく、自然に自主的に学生としての責任を果たしていた。例えば、昼食後、日本の学生は弁当の容器を片付け

る以外に、テーブルの上のご飯粒までティッシュペーパーできちんときれいにしていた。こうした小さな行動がとても印象に残っている。そして、教室の規則では、授業以外の時間のみ携帯の使用を許されているのだが、チャイムが鳴ると、全員が自然に自主的に携帯を仕舞い、45分間の授業中、全く携帯を気にする様子は無かった。この自制心を香港の学生は見習うべきだと思う。

最後にもう一つ驚いたのは、日本の家庭と大自然の密接な繋がりが。ホームステイの時、私たちが口にした農作物は、すべてお爺さんが近くの畑から採ってきたものだった。翌朝には、お爺さんは私たちを近くの野原へ散歩にも連れて行ってくれた。香港のような都会で生活する私たちにとってはすべてが初めてのことで、とても感動した。

○まず、ホームステイが一番印象的だった。私たちはホストファミリーと一緒に竹筒を作り、畑でさつま芋を掘り、お寺へ出かけて鐘を撞いた。どれもが目新しい体験だった。ホストファミリーが私欲なく私たちの世話をしてくれたことに深く感動し、そのことから人の好意は決して当たり前の事ではなく、私たちは感謝の心を持つべきだと学んだ。自身の物事への対処や価値観に新たな考え方が加わった。彼らの心にある感謝の心に学ぶべきだ。

次に、学校訪問の体験が深く印象に残った。私たちは牛久高校と北稜高校を訪問した。二つの学校は校風に大きな違いがあった。牛久高校は、学業に重点を置いた学校で、校内の学習に対する雰囲気も比較的良かった。私のバディも含め学生は全体的にやや内向的だったが、さまざまな活動の中でみんな徐々に親しくなり、積極的に発言するようになった。交流の中で、互いの学習に対する考え方をシェアした。彼らの学習態度はとても参考になった。彼らは自ら積極的に分からない事に向き合い学んでいた。決して尻込みすることなく、問題を回避したりもしない。この学習態度には敬服した。北稜高校の情熱にも、視野を広げられた。彼らは知らない相手に対しても全く恥ずかしがることがなかった。更に、共に過ごすことで、よりリラックスした気分になしてくれた。彼らの自主性、積極性に学ぶべきだ。

○まず、学校訪問で、日本の学生の積極的で外向的な学習態度に敬服した。私がまだ戦々競々として、どう接したらよいか思案している時、彼らは初対面の私たちを満面の笑顔で迎えてくれた。言葉の壁はあったが交流の邪魔にはならなかった。授業中、彼らが先生と互いにやり取りする様子に、私はとても驚いた。香港では、学生はただ静かに席に座って、先生の講義を注意深く拝聴する。他の学生の授業時間を無駄にしないように、皆授業が終わってから先生に質問をする。それに対して、日本の学生は、何か分からないことがあると、すぐに手を挙げて大きな声で質問していた。楽しくリラックスした雰囲気が、学生を授業に集中し易くしていた。そのため、授業中も日本の学生の積極的で外向的な特徴が発揮されていた。こうした特徴は、人に接する時の助けになると思うし、自信が出て、さまざまな困難を克服していく助けにもなると思う。

次に、日本人と接し、彼らの親切さや真面目さ、礼儀正しさを感じることができた。日本科学未来館を見学した時、ある災害予告システムの展示を見た。そこには、彼らがいかにして天気に関する資料を集めて分析し、次の災害の発生時期を推測するかが細かく説明されていた。この転ばぬ先の杖の心構えは、謙虚に学ぶに値すると思う。予想外の事が起こらないように、常に十分な準備をしておく必要があるのだ。他にも、ホームステイ先での、日本人の温かいもてなしと接客も、手本にする価値がある。彼らの礼儀を尽くした謙虚さに、私は恐縮し、普段の自分の人に接する態度を恥じた。自分に厳しく他人に優しく、絶えず礼儀に気を付け、自分本位にならず、他人の気持ちを

ないがしろにしない。これこそが、正しい生活であり、人生への姿勢だと悟った。

○今回の九日間の訪日日程は、内容が豊富で範囲も広く、沢山感動し、色々考えさせられた。学校訪問では、日本の若者の活発さと熱意を感じ、専門分野の見学では、日本人の専門性と細やかさに驚かすにはいられなかった。茨城と京都の二つの学校では、日本の「仲間」が私を歓迎してくれた。彼らは一生懸命に学校の施設を案内し、書道教室や工芸室を見せてくれた。また、香港の事情についても熱心に質問してきたので、その好奇心の強さに驚いた。校内を見学していると、会う人会う人に挨拶された。また、神社を参拝した時には、日本人が礼儀を重んじる様子を見ることができた。参拝の前には手を清め、参拝にも一々やり方があった。これが正に彼らの国民性とイメージを形作っているのだ。

これらの体験は、私が学校で環境と風紀を改善する参考になる。私は学校で芸術クラブの会長をしている。今回日本の美術室を見学し、美術部の学生と交流することができた。彼らの授業や部活動組織を香港に持ち帰り、二つの優劣を合わせ、私たちの芸術クラブを新たに作り上げたい。今回の交流がなければ、他の国の学生がどのように活動しているのかを知ることはできなかった。

日本と中国の最大の違いは、文化の保護と尊重にあると思う。日本の多くの文化は中国から伝わってきたものだが、中国はそれらを保護し大切にすることを怠ったため、多くが失われてしまった。着物ショーを見て、私は着物の原型が中国の唐代の服装にあることを知った。裁断方法にも形状にも共通点があり、これは日本と中国の文化上の交差点だ。でも現在、日本には着物があるが中国の唐代の服装はなくなってしまっている。両地の文化の保護の違いだ。中国のために日本に学ぼう。最後に、最も深く印象に残ったのは日本家庭でのホームステイだ。ホストファミリーがとても親切だっただけでなく、濃厚な生活感をじっくり味わうことができた。寒い冬と一緒に集まって話し食事をする。香港のような生活リズムの速い場所では感じることはできないものだ。私は、もっと沢山の時間を家庭で過ごし、家庭を大切にしたいと思った。これが、私の日本での見聞きした事と感想だ。

#### ◆澳門団

○今回が初めての日本訪問だったが、見知らぬ外国に来たというような特別な感覚は全くなかった。私にとって日本は元々良く知っている国だったからかもしれない。例えば、日本の道路はとても清潔で、街にはごみ箱がなく、日本人は礼節を重んじ、非常に礼儀正しく、他人に迷惑をかけることを嫌う等々。これらすべてが、日本と私たちの文化の差であり、私たちが学び手本にする価値のあるところだ。

最も印象深かったのは、北広島町でホームステイをした時のことだ。初めは、このような辺鄙な山奥の農村地域は、東京などの大都市に比べ、関連施設は劣っているに違いないと思っていた。でも実際は、冬の気温が東京より低い以外、基本的に東京と何ら差はなく、私たちはもっと滞在していたい、離れたくないと思ったほどだ。家は都市部よりも広く、景色も、視界も、空気も都会よりよかった。そして最も重要なのは、消防署や病院、銭湯などの必要な施設がすべて揃っていたことだ。私が想像していたような「田舎」や「農村」とは全く違う、それはもう立派な町だった。中国の農村といえば、これこそ正真正銘の「農村」だ。日本と中国の国土面積を比べれば、日本の方がより多くの資源を辺鄙な地域の発展のために使える。でも、もし今後中国が資源か機会を得て、こうした地域の施設等を改善すれば、都市人口の一部を引き受けられるだけでなく、観光業の発展を

促進することもでき、それによって地域経済を牽引し、互いに補い合うことができる。

○今回の訪日前、幸運にも日本の学生と交流できると、とても期待していた。最初の東京都立淵江高校では、日本の学生がとても温かく私たちをもてなしてくれた。体験の時も交流の時も、彼らは常に優しい笑顔を絶やさなかった。文化や言葉が違い、意思疎通が難しくても、日本の学生は全く気にせず、私たちに合わせてくれた。この数日で、日本の礼節に触れただけでなく、ホームステイ先では、互いに世話を焼き、理解し合い、彼らが本当に良い人たちだと分かった！！次の武田高校では、唯一丸一日、日本の学生になることができた。彼らの温かさが私の緊張をほぐしてくれた。私は、陸上部のクラブ活動に参加した。先生たちに連れられ、山を上り、山道を走り、ゲームをして遊んだ。澳門の練習とはずいぶん違っていた。彼らはチームワークを重んじていた。日本でのこの数日間、私は絶えず悟り学んでいた。

○東京の淵江高校では、その整った設備と、校内環境の清潔さ、学生の才能や技芸、熱意に驚き深い感動を覚えた。広島武田高校では、日本の先進的な教育モデルや設備、世界レベルの授業カリキュラムを体験することができた。こうした経験をし、私は日本の教育制度の質の高さと完璧さを知った。また、東京の日本科学未来館では、日本のAI技術が非常に成熟し、既に日常生活に入り込み、人類に役立つレベルにあることを知った。そして、岡田浩之教授のセミナーは、日本のAI技術が既に世界のトップレベルにあるという事実を教えてくれた。

知識を増やし、視野を広げることができただけでなく、人として物事を行う面でも得たものがあった。日本人の、物事を行う際の細やかさや態度が、私に深い印象を与え、自分の人としての在り方を変えたいという気持ちにさせた。日本人の物事を行う態度は今後も手本にしていく価値がある。

ホームステイ交流では、日本語と広島語によく似た発音の言葉が沢山あることを発見し、日本語に対する興味が湧いた。

日本は味わい深く、体験する価値が沢山あるところだ。私はまた日本に来るだろう。

○日本の学生は、学校のある地域によってずいぶん違う。東京の学生はとてもフレンドリーだったが、広島の学生ははにかみ屋が多かった。おそらく、東京は首都で、広島はやや辺鄙な地域である所以だろう。

中でも印象深かったのは、武田高校での交流の質問の時間だ。私が彼らに嫌な事は何かと尋ねる度に、彼らはいつも「嫌な事はない」と答えた。彼らは拒絶することが得意でなく、あまりやりたくない事でも、無理にでもやり遂げているのが見て取れた。

そして、私の思考を最も刺激したのは、「赤ちゃんロボット」のセミナーだった。講義では、赤ちゃんロボットとの相似点を取り上げられていた。この点に私は賛同する。そして彼らの学習速度が異なる原因は、受け取る情報量の差だと考える。例えば、一枚の紙に対して、赤ちゃんはそのサイズや色、触感、質感（柔らかい、固い等）を感じとることができるし、観察し学習することでその用途も知ることができる。でもロボットがこれらすべてを行おうとするのはとても難しい。

最後に、平和記念資料館のさまざまな種類の歴史記録に、感無量だった。世界が永遠に平和であることをより強く願った。

○今回が初めての日本訪問であり、初めての外国語を使っての交流だった。私の日本語はほんの基礎レベルだが、英語にも助けられ、日本の友人との交流はとても順調だった。今回の交流を通じて、私は日本の礼儀文化と環境保護に対して深く感服し、日本語に対する興味も湧いた。帰国したら交流団の友人たちと、共に日本語を勉強し、二年生になったらまた一緒に日本に来て、ホストファミリーのお父さんとお母さんに会いに行こうと約束した。

学校では、嬉しく光栄なことに、日本の太鼓や茶道、家庭科、剣道等の授業を体験し、これらの授業について知ると共に、日本に対する理解も深まった。見学では、時間が短すぎて、すべてを見学しきれずに出発することが多かった。これは非常に残念だと思う。

今回の交流を通じて、日本と中国の異なる点と同じ点をまとめてみた。これらはすべて間接的に国の発展に影響を与える。例えば、日本人は礼儀文化を重んじ、他人に会えば挨拶をし、ところかまわずごみを捨てたりもしない等。中国人の多くが今はまだできていないことだ。私は中国人として、同胞が態度を改め、国を更に発展させ、強大にしていくことを望む。

## 5. 受け入れ側の感想

### ◆日本高校生

○この度、学校交流で香港の留学生と交流し、「同じ高校生なのにこれだけの英語能力に差がつくのか」と思いました。留学生の方々も自国の言葉ではないのに自分の意見や言いたいことを英語で伝えていて見習いたい、あんな風に沢山話してみたいなあと改めて思い、とても刺激を受けました。

自分の中の英語力をフル活動させて、1日を過ごした気がします。また、私は茶道部として放課後に交流する機会があり香港の留学生、先生方ともに「素晴らしい!」とお言葉を頂いて嬉しかったです。茶道を見て疑問に思ったことなどを英語で受け答えしたり、抹茶の飲み方を教えたりなどできて良かったです。本当に有意義な時間を過ごせました。

○日本の高校と香港の高校のシステムの違いは驚きました。自分の興味のある分野を選択して勉強することができること聞き、香港のシステムはとても興味深かったです。また、6、7限にみんなの前でプレゼンをしてくれましたが、香港の高校のことについて詳しく知ることができてよかったです。

普段、家では広東語で家族と会話をして、学校では英語と北京語を使い生活していると聞き、私も英語と中国語の勉強をやらないといけないと改めて思いました。海外の人と交流したいという姿勢が強くて、日本のことを知ろうとしてくれました。私ももっと積極的に自分から行動を起こしていけるようにしたいです。

今回、受け入れたのが初めてで不安もありましたが、とてもいい経験になりました。異文化を理解し更に自分の国の文化を世界に発信し、さまざまな国の人と友好関係を築いていきたいです。その為にも2020年に開催される東京オリンピックでボランティアとして活動し、日本の良さや文化を更に知ってもらえるようにしたいです。

○澳門の高校生はみんな社交的で明るい印象が残りました。私のバディの女の子は日本が大好きでとても日本語が上手だったので驚きました。英語と日本語を使って会話をしてとても楽しかったです。また、バディの子以外にもプレゼンテーションを聞いた時に新しい友達もできました。澳門の高校生から中国語を教えてもらったので、中国語を話せるようになりたいと思いました。中国語を

教えてもらったので日本語を教えてあげました。とても楽しい時間を過ごすことができました。

今回の経験を通して、英語や中国語を話してみたいと思いました。言葉の壁はあったけれど自分の知っている単語を使ったり、ジェスチャーを使うことで仲良くなることができました。澳門という地名は知っていたけれど、実際に澳門には私の知らなかったとても楽しそうな文化や人々がありました。この経験で海外の人と話し、文化交流をしたいという気持ちが強くなりました。澳門の高校生とSDGsについてディスカッションした時、澳門の生徒は積極的に自分の意見を述べていてすごいと思いました。これから、英語をもっと話せるように海外の方達と交流できる機会があるなら積極的に参加して、友達を作りたいと思いました。今回出会った澳門の高校生との繋がりをこれからも大切にしていきたいです。

## 6. 参加者の対外発信

<p>10/12, 今天我們到訪了日本科學未來館, 見識了日本的先進科技; 還參觀了皇居二重橋, 看到了日本的傳統建築風格</p>  <p>18分鐘前  刪除 </p>	<p>日本student exchange 😊</p>  <p>11 December 2018 5:25 PM Delete </p>
<p>日本理解についての発信</p> <p>12月10日、日本科学未来館を訪問し、日本の先進的な科学技術に対する見聞を広めた。また皇居二重橋を参観して、日本の伝統的な建築スタイルを見た。</p>	<p>学校訪問についての発信</p> <p>日本高校生と交流</p>



12/12, 今日我們乘坐新幹線前往滋賀縣, 在當地的民宿中住下, 體驗了日本一般家庭的日常生活, 十分快樂的一次經歷 🥰



12分鐘前 删除



Homestay 🌟

一次非常非常非常難得嘅體驗 ✨

好嬲自己唔識日文 😞

晒左好多時間係溝通方面

第一次體驗到Google translate 的威力

即使言語不通 但肢體語言同笑容 會係一種共通嘅語言 ✨

由一開始嘅擔心 變成後來的不捨

剛開始慣左佢地屋企生活就要離開了

一晚的相處 到早上離別嘅一刻已經足夠令

我流淚... 原因係佢地真係十分好人 💕

每餐飯都好用心 好滿足 😊

第一次做homestay就遇到我地三個唔識日文嘅人 😞

點都好 希望能再見 🙏🙏

#Hiroshima

#Jenesys2018

折疊



ホームステイについての発信

12月12日、新幹線に乗って滋賀県に行った。そこでホームステイし、日本の一般家庭の日常生活を体験した。とても楽しい経験だった。

ホームステイについての発信

とても貴重な体験だった。

日本語ができず悔しい。コミュニケーションに無駄な時間をたくさん費やした。初めてグーグル翻訳の力を実感した。言葉は通じなくてもジェスチャーと笑顔は共通言語となる。

初めは心配だったが最後は別れがたかった。たった一晚の滞在だったが、朝別れの時は涙が出るほどだった……。彼らは本当にいい人だったから。食事は毎食、心がこもったもので大満足だった。

初めてホームステイを受け入れたのに、それが日本語が分からない私たち3人だったなんで。

いずれにしても、また会いたい。

甲賀流忍者屋  
すごい 😊



2018/12/13 3:43 PM

是世界文化遗产 而且还有特别有名的海上大鸟居 🏯 特别漂亮!!

在这里买了一堆御守当手信送人 ((听说御守使用期限是一年哦 😊

#迟po

#广岛真的真的真的好冷!!!



2018年12月17日 14:34

日本理解についての発信

甲賀流忍者屋敷は、すごい!

日本理解についての発信

厳島神社は世界文化遺産であり、非常に有名な海の中の大鳥居がある。とってもきれい!!

ここでお土産にお守りをたくさん買った。

(お守りの使用期間は一年らしい)

広島は本当に寒い!!!

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表



### <澳門団>

・地理クラスという場を借りて、今回の訪日体験を分かち合おうと思う。自身も面接の時に、地理クラスのJENESYS 参加経験のある先輩から色々アドバイスをもらい、とても参考になったので、機会があれば、私も次の“私”の手助けをしたいと思う。

・正式に勉強したことがないので、日本の友人ともっと上手く交流し、ホストファミリーに手紙が書けるように、帰国したら時間を見つけて日本語を勉強しようと思う。

・日本の伝統的な折り紙の美しさに驚かされた。帰国したら、日本の折り紙をもっと深く理解し、クラスメイトと一緒に折り紙をして、日本の精緻な折り紙技術を広めたい。

・周りにも日本に憧れている友人は沢山いるし、今回の旅でも沢山の志を同じくする仲間と知り合えたので、これからも連絡を取り合い、日本に関する情報交換を続けたい。

・日本人の生活の知恵がとても興味深かった。例えば、トイレの便座に暖房機能がついていたり、米とぎボウルに小さな穴があって水が底から直接流れ出るようになっていたり等々、澳門ではまだ普及していないので、家族やクラスメイトと、こうした日本の生活用品の便利さを分かち合い、もっと日本の家庭用品を買ってみればと勤める。

・この数日で「他人に迷惑をかけない」という日本人の習慣に深く感動した。とても素晴らしい道德だ。自分が他人に迷惑をかけていないかにも常に注意する。帰国したら、まずは頑張って自分から始め、日本の素晴らしい道德を伝えたい！

### <香港団>

・日本で知り合った友人と連絡を取り続ける。スマホやコミュニケーションアプリを通じ、自身の学校生活やエピソードなどについての情報を共有し、相手の国に対する理解を深める。

・学校や地域で日本に関するイベントがあれば、実施を手伝い、宣伝もする。例えば日本関連の展示会があれば、ブース設置を手伝い、宣伝する。

・インスタグラムやツイッター、フェイスブックに今回の交流の写真や体験をアップし、多くの友人や家族に日本の文化や生活などを理解してもらおう。

・日本のニュース報道のツイッターや、ネット上で日本のニュース報道を見たりして、日本で最近起こった出来事を知る。

・直接友人に日本の生活や文化などを紹介する。例えば日本で撮った写真を見せて、そこでの出来事について説明し、より深く理解してもらおう。

・日本の環境保護対策を見習って、学校で環境保護の概念を広める。今回日本で実施した環境保護研究をテーマにしたプロジェクトを機に、環境保護政策に対する知識を深め、学校と学生たちに環境保護活動に参加してもらおう。

・学校新聞と学校創立 20 周年便りに投稿する。内容は日本の学校での見聞、例えば部活動やスポーツ、授業、生活習慣など。これにより、先生や学生は他の地域の教育制度について理解を深め、両地の利益と弊害を比較することで、学生の学習方法やモチベーション、精神状態を改善する効果がある。